

2026 年 1 月 19 日

長谷工グループのサステナビリティ活動 自社生産さつまいもを初めて滋賀県大津市のこども食堂に提供 近隣幼稚園と連携し「苗切り～収穫～食べる」食育を推進

長谷工グループ（代表会社：株式会社長谷工コーポレーション、本社：東京都港区、代表取締役社長：熊野 聡）の株式会社長谷工あんしんデリ（本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴鹿政秀）は、昨年 12 月 8 日（月）、同社が運営する滋賀県大津市内の育苗ハウスで収穫したさつまいもを、滋賀県大津市内のこども食堂 1 ヶ所へ初めて寄付しました。

寄付したさつまいもは、こども食堂での食材として使用されるほか、利用者へも配布されるなど、地域との絆を深める取り組みとして、感謝の声を数多くいただきました。今後は、収穫量に応じて寄付先を増やすことも検討しています。

長谷工あんしんデリは、滋賀県大津市で社会課題解決型農業を推進し、放置竹林整備から発生した資材やフードロス由来の材料を肥料として活用して米を生産するほか、関西圏では生産量が少ないさつまいも「紅はるか」の産地化に取り組んでいます。さつまいもは収穫時には色や形、サイズが揃いで販売に適さないものも美味しく食べられるため、フードロス削減の観点から、地域のこども食堂で活用していただくこととしました。また、昨年 5 月には、育苗ハウス近隣の大津市立青山幼稚園の園児が、さつまいもの苗切りから移植、収穫、試食までを体験する食育イベントも実施しました。

今後も長谷工グループは、持続可能な地球環境の実現を目指し、生物多様性に配慮した企業活動を推進していきます。併せて、社員の環境意識向上を図りながら、地域振興と活性化に寄与するサステナビリティ活動を継続してまいります。



【こども食堂に寄付したさつまいも】



【園児の食育イベント】 左）苗切りの説明の様子 右）移植の様子